

静岡県の建設業就業者数推移(2007年～2019年)

建設業の就業者数は2008年、一気に80,000人を超えるピークを迎えました。その後、2010年に再び60,000人付近まで減少し、2016年ごろにもう一度上昇していますが、2020年にはやや落ち着き、約60,000人を維持している状況です。特に2014年と2015年の増加傾向が目立ちますが、その後、再び減少に転じました。

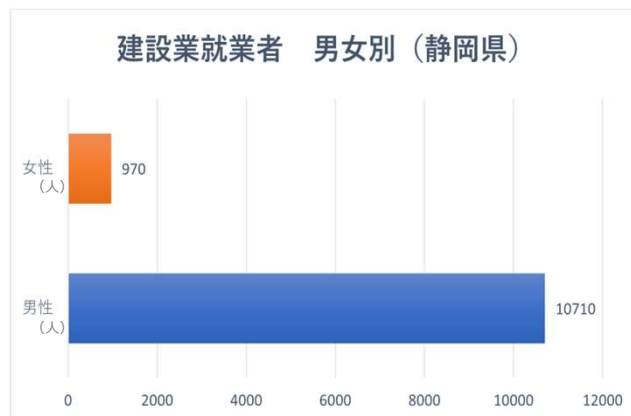
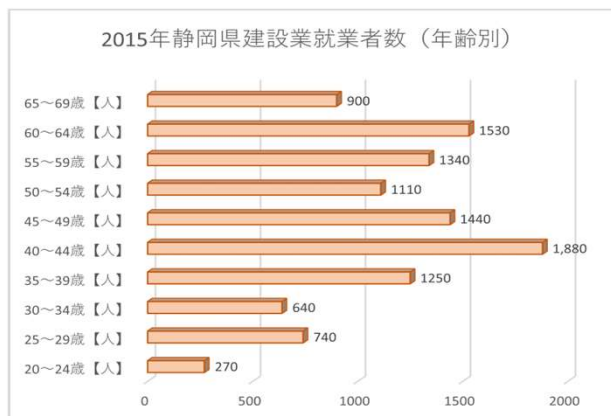


出典: 政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>)
 国勢調査結果を基に株式会社橋本組作成

年齢・男女別の就業者数(2015年)

2015年のデータでは、就業者の多くが中高年層に集中していることがわかります。45歳～49歳の層が最も多く、約1,880人。その次に多いのが、40歳～54歳の層で、約1,440人前後です。65歳以上から年齢が高くなるにつれて減少していますが、高齢者の割合が少なくないことが示されています。一方、20歳～24歳の若年層はわずか270人と、少ないことが際立ちます。

男女別の就業者数(2015年)は、男性が圧倒的多数を占めており、10,710人に対して、女性はわずか970人。静岡県における建設業は男性中心であり、今後建設技術者を増やすため女性の建設業への就業推進が対策の一つと考えられます。



出典: 政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>)
 国勢調査結果を基に株式会社橋本組作成

これらのデータから、静岡県の建設業は、年齢層が高めで、中高年層に依存していること、また若年層の参入が少なく、男女比でも男性が圧倒的多数を占めていることが読み取れます。